

津久見 市議会だより

Tsukumi City Council News

第

90

号

3月 6月
12月 9月

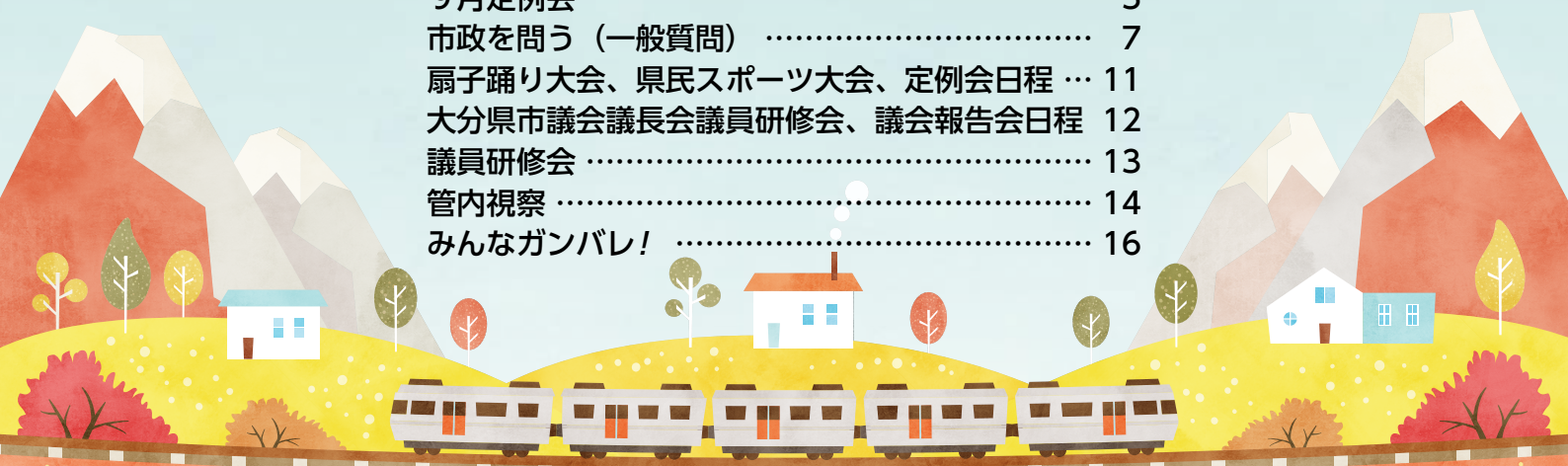
令和7年9月 定例会
令和7年11月1日発行

編集発行：大分県津久見市議会
TEL 0972-82-9518



白蓮こども園 運動会

決算について	2
9月定例会	5
市政を問う（一般質問）	7
扇子踊り大会、県民スポーツ大会、定例会日程 ..	11
大分県市議会議長会議員研修会、議会報告会日程	12
議員研修会	13
管内視察	14
みんなガンバレ！	16

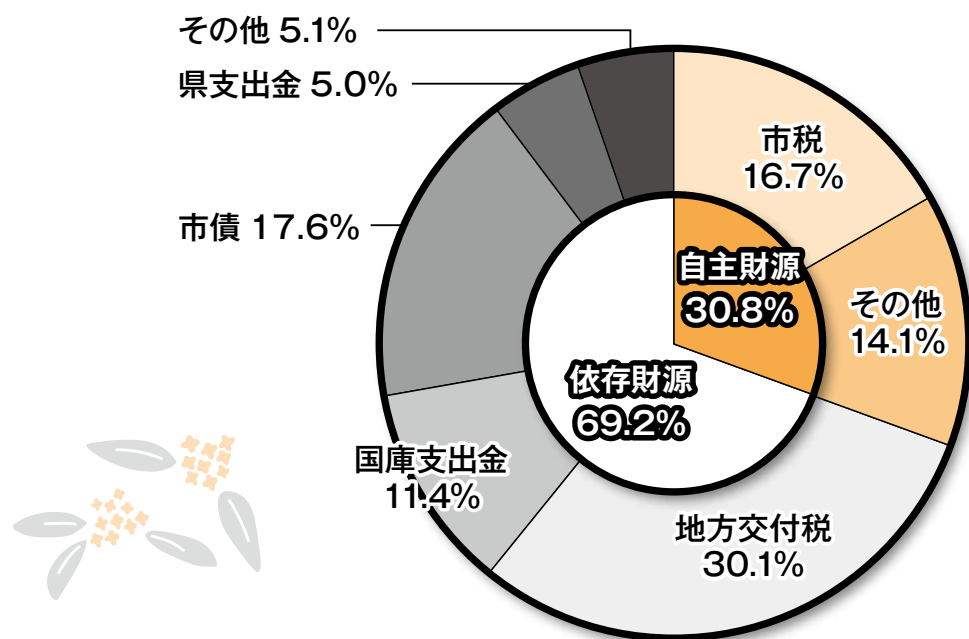


特集 129億円の使われ方!!

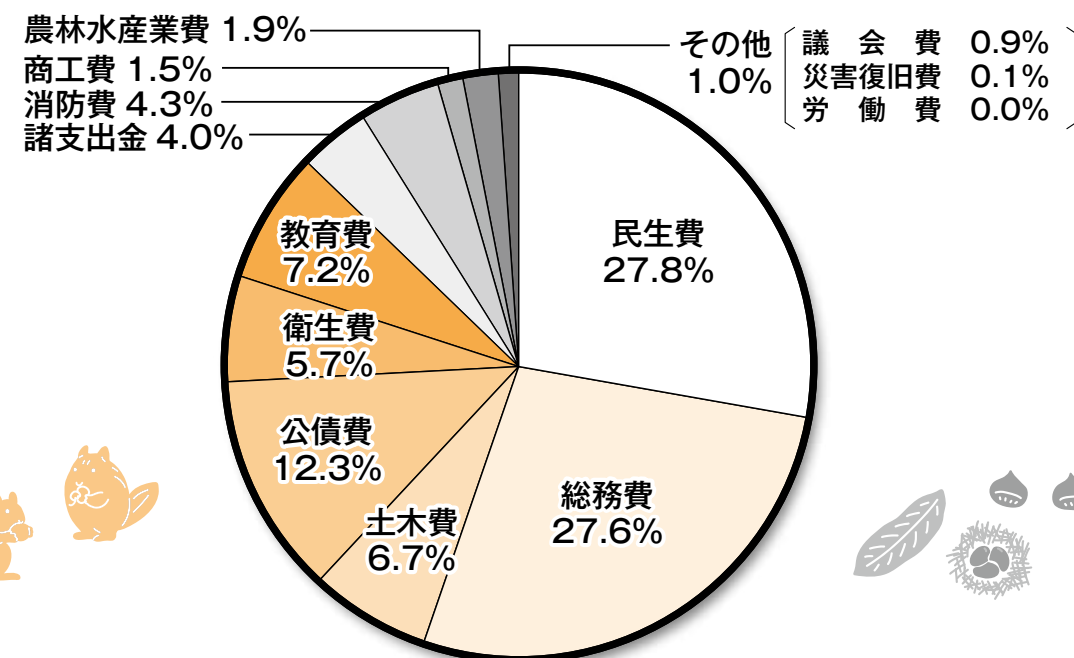
令和6(2024)年度決算

令和6年度決算は、歳入決算額 129 億 736 万 7,649 円、歳出決算額 124 億 6,703 万 5,086 円、歳入から歳出を差し引いた形式収支は 4 億 4,033 万 2,563 円で、844 万 7,000 円を繰越事業の財源としているので、実質収支は 4 億 3,188 万 5,563 円の黒字決算となっています。

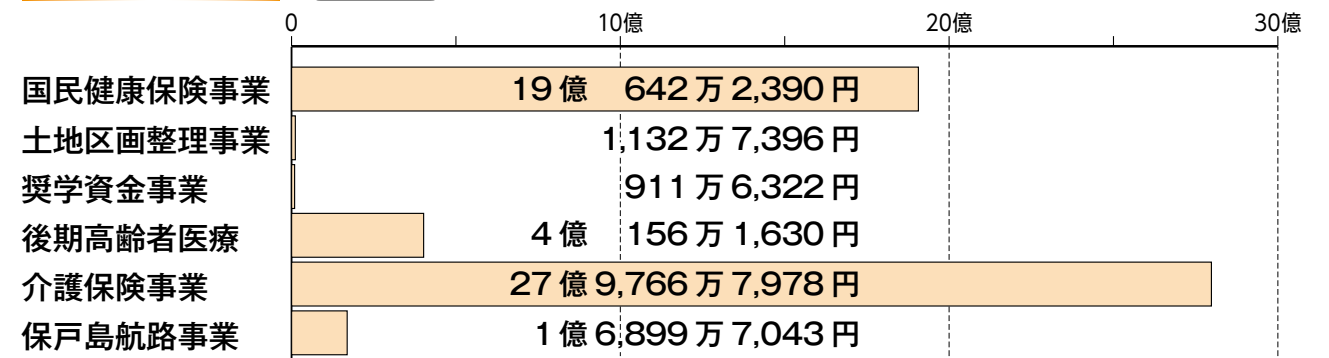
一般会計 歳入 129 億 736 万 7,649 円



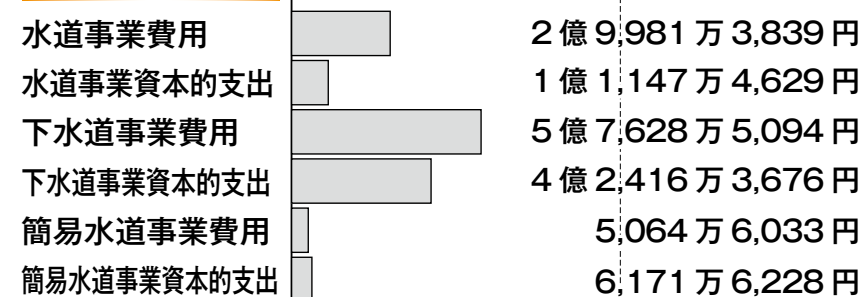
歳出 124 億 6,703 万 5,086 円



特別会計 歳出額



公営企業会計



ふるさと納税の使い道 1 億 4,500 万円・38 事業で活用

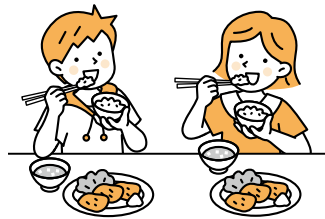
活用額 200 万円以上の事業

○ 新築祝い品	400 万円	(事業費総額 575 万円)
○ 空き家利活用事業	200 万円	(事業費総額 422 万 8 千円)
○ 移住者応援給付金事業補助金	300 万円	(事業費総額 840 万円)
○ 消防活動資機材整備費	200 万円	(事業費総額 546 万円)
○ 福祉まるごと支援事業	200 万円	(事業費総額 2,499 万 2 千円)
○ 地域生活支援事業費	200 万円	(事業費総額 2,200 万円)
○ 母子保健健康診査事業	200 万円	(事業費総額 464 万 7 千円)
○ 水産資源の保護・増殖事業	200 万円	(事業費総額 465 万 1 千円)
○ つくみ港まつり負担金	400 万円	(事業費総額 500 万円)
○ 観光交流館運営費	300 万円	(事業費総額 486 万円)
○ 保育料支援事業 (保育料無料化)	1,000 万円	(事業費総額 1,242 万 8 千円)
○ 特別保育事業 (延長保育ほか)	200 万円	(事業費総額 1,081 万 1 千円)
○ 放課後児童クラブ支援事業	400 万円	(事業費総額 483 万 3 千円)
○ 小中学校特別支援員配置業務委託料	400 万円	(事業費総額 1,166 万 1 千円)

主要施策における重点事業

支援対象児童見守り強化事業 254万9千円

児童虐待のリスクの高まりを踏まえ、子育て世帯が孤立しないよう支援することが必要であるため、民間団体と連携して食事の提供等を行うことで、支援ニーズの高い子どもを見守り、必要な支援につなげることができる体制の構築を図った。



共同調理場整備事業 2億407万4千円

学校給食を1校拠点方式へ移行するための改修、食物アレルギーに対応するための増築を行い、食の安全・安心の確保を図った。



共同調理場

市民農園整備事業 355万円

終末処理場海側市有地を市民農園として整備を行った。利用区画の募集を行ったところ、応募者多数により24区画全てが埋まり、現在待機者も数名いる状況である。野菜栽培に携わる市民の増加を図り、新たな農家の育成につなげるという目的の達成に向け良いスタートが切れた。



市民農園

新環境センター整備事業 2,246万9千円

大分都市広域圏の構成団体のうち6市（大分市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市）で、2027年（令和9年）稼働に向け取り組んでいる一般廃棄物の広域処理施設「新環境センター」の整備に係る本市の整備負担金。



新環境センター

ふるさと寄附金推進事業 1億470万3千円

効果的なプロモーションにより、「津久見」の認知度を高め、地元の特産品を全国に情報発信し寄附金の増額をめざすとともに、寄附者に対し、地場の特産品をお礼の品（返礼品）として贈ることによって地域経済の活性化につなげた。今後も地域資源を活用した魅力ある特産品（返礼品）開発を積極的に推進していく。



↑
詳しくはこちらから

決算特別委員会審査報告

令和6年度一般会計・6つの特別会計・3つの公営企業会計
すべての決算を認定しました。

決算特別委員会…10月9日(木) 本会議認定…10月17日(金)

9月定例会

会期：9/8~10/17
(40日間)

総務常任委員会

9月18日、本委員会に付託された議案4件及び意見1件について審査を行いました。

【議案第68号 津久見市職員の勤務時間及び休日休暇等に関する条例の一部改正について】

【説】 地方公務員の育児休業等に関する法律や人事院規則等の改正に伴い、仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員意向確認等の条文の追加等、所要の改正を行うもの。

【結】 委員から、この改正で育児休業を取得しやすくなる反面、その分、業務への支障が出る可能性があるのではないか、との質疑があり、その都度、どういった対応がいいのか、担当課と協議しながら、対応していくとの答弁があり、審査の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

【議案第69号 職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部改正について】

【説】 地方公務員法の改正に伴い、引用条文の変更により生じた条ずれについて改正漏れがあったため、所要の改正を行うもの。

【議案第70号 津久見市職員の給与に関する条例の一部改正について】

【説】 地方公務員の育児休業等に関する法律や人事院規則等の改正に伴い、関係例規に係る所要の改正を行うもの。

【議案第73号 津久見市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について】

【説】 地方公務員の育児休業等に関する法律や人事院規則等の改正に伴い、労働者が就業しつつ子を養育することを容易にするための新たな措置の導入等、所要の改正を行うもの。

【結】 以上3議案について、それぞれ質疑がありましたが、審査の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

【意見第6号 地方財政の充実・強化に関する意見書(案)】

【結】 全員異議なく、可決すべきものと決しました。

【説】…説明 【結】…結論 【審】…審査

社会文教建設常任委員会

9月18日、10月1日、本委員会に付託された議案7件について審査を行いました。

【議案第67号 津久見市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の全部改正について】

【説】 企業職員の給与制度について、国の制度改正や一般職の職員との均衡、勤務実態の変化等を踏まえた見直しを行ったところ、企業職員の給与の種類や支給基準に関する必要な事項については「津久見市職員の給与に関する条例」等を準用することで整理できることから、全部改正を行うもの。

【議案第71号 津久見市水道事業給水条例等の一部改正について】

【説】 大規模災害等の非常事態における断水や漏水等について迅速かつ柔軟な対応が求められることから、国の通知に基づき、他自治体の指定事業者が速やかに給水装置工事を施行できるよう、所要の改正を行うもの。

【議案第72号 津久見市文化財保護条例の一部改正について】

【説】 文化財保護法の改正に伴い、引用条文の変更により生じた条ずれや語句について改正漏れがあったため、所要の改正を行うもの。

【議案第74号 津久見市急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の一部改正について】

【説】 大分県市町村急傾斜地崩壊対策事業費補助金交付要綱の改正に伴い、対象事業費の上限額について、所要の改正を行うもの。

【議案第81号 工事施行に関する基本協定の締結について(岩屋踏切拡幅工事)】

【説】 岩屋踏切拡幅工事の施行に関する基本協定の締結について、地方自治法及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

【議案第82号 他の普通地方公共団体の公の施設を津久見市の住民の利用に供させることに関する協議について(豊後大野市)】

【説】 「大分都市広域圏」を形成する豊後大野市の「豊後大野市多機能型武道場」を、津久見市の住民の利用に供させることに関する協議について、地方自治法第244条の3第3項の規定に基づき議会の議決を求めるもの。

◆議案第 83 号 工事請負契約の締結について（再生資源保管施設（旧焼却施設）解体工事）

説 再生資源保管施設（旧焼却施設）解体工事について、8月26日に要件設定型一般競争入札により落札業者が決定し、9月17日に仮契約が締結され、その契約金額が、6億8,668万9,564円となることから、地方自治法及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

結 以上7議案について、それぞれ質疑がありましたが、審査の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

予 算 常 任 委 員 会

9月19日、本委員会に付託された議案6件について審査を行いました。

◆議案第 75 号 令和7年度一般会計予算の補正について

説 歳入歳出それぞれ7,984万5千円を追加し、補正後の予算の総額を、歳入歳出それぞれ130億7,437万4千円とするもので、主な内容として歳出では消防団第3分団堅浦部格納庫移転事業の杭工事追加に伴う増額、定額減税不足額給付金について、当初想定を回ることに伴う、事業費及び事務費の追加などを計上しており、歳入では、事業費の増額等に伴う国県支出金等の増額及びそれらに伴う普通交付税による調整などの予算を補正をしたもの。

結 委員から様々な質疑がありましたが、その内容も理解できたので、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

◆議案第 76 号 令和7年度国民健康保険事業特別会計予算の補正について

説 国の子ども・子育て支援事業に伴うシステム改修に係る予算を補正したもの。

結 委員から様々な質疑がありましたが、その内容も理解できたので、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

しかし、10月1日の本会議において、反対討論があり、採決の結果、賛成多数をもって可決されました。

◆議案第 77 号 令和7年度津久見市後期高齢者医療特別会計予算の補正について

説 国の子ども・子育て支援事業に伴うシステム改修に係る予算を補正したもの。

結 委員から反対討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数を以って可決すべきものと決しました。

また、10月1日の本会議においても、反対討論があり、採決の結果、賛成多数をもって可決されました。

◆議案第 78 号 令和7年度津久見市水道事業会計予算の補正について

説 令和7年度から令和8年度までの債務負担行為補正として、水道施設維持管理業務包括委託を計上したものの。

◆議案第 79 号 令和7年度津久見市下水道事業会計予算の補正について

説 津久見終末処理場の設備更新工事費などの増額により補正したもの。

◆議案第 80 号 令和7年度津久見市簡易水道事業会計予算の補正について

説 令和7年度から令和8年度までの債務負担行為補正として、簡易水道施設維持管理業務包括委託を計上したもの。

結 以上3議案について、その内容も理解できたので、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

議 案 の 賛 否 表

賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
○：賛成 ●：反対 棄：棄権 欠：欠席

議 案 名	植田 志 ぼ	野田 和 廣	内田 隆 生	島田 勝	倉原 英 樹	丸木 一 哉	菊池 正 一	井戸川 幸 弘	黒木 章 三	宮本 和 壽	高野 幹 也	知念 豊 秀
議案 76 号 令和7年度国民健康保険事業特別会計予算の補正について	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	●
議案 77 号 令和7年度津久見市後期高齢者医療特別会計予算の補正について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●
認定 1 号 令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●

市 政 を 問 う

一般質問

9月16日(火)・17日(水)

7 議員が登壇 傍聴者延べ 19 名

一般質問とは
議員が本会議で市政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況や将来に対する方針などについて質問することです。

顔写真横の二次元コードから各議員の一般質問の動画をご覧ください。

津久見市議会録画映像インターネット配信 ▶
<http://www.kensakusystem.jp/tsukumi-vod/index.html>



中央町の再生なしに、
市中心部の活性化なし!!

きくち しょういち
菊池 正 一



問 中央町再生（活性化）に向けた取り組みは

答 中央町は、駅や金融ゾーン、商業施設、建設中の新庁舎などが徒歩圏内にあり、回遊性や滞在性に優れた利便性の高いエリアです。現状は、空家や空地などの未利用資源も多く、いろんな可能性を秘めています。住宅地としての活用も今後進めていく必要があります。進めていくべきエリアであると考えます。住宅地化が進めば、高齢者が暮らすエリアとしては、非常に適していると思われます。高齢者住宅などを建設したい民間活力があれば、積極的に協議させて頂ければと考えています。中央町の活性化は、単独の施策や一時的なイベントだけでなく、中長期的な街づくりビジョンに基づき、地域全体の周遊性・滞留性・快適性をバランスよく高めることが不可欠です。中央町の再編と活性化は一朝一夕に実現できるものではありませんが、市全体の将来像を

見据え、持続可能な市中心部の新たな姿の早期実現に努めます。

問 市職員の不祥事（トラブル）の発生状況と再発防止に向けての取り組みは

答 公用車での事故は、令和4年度が5件、5年度が4件、6年度が6件で、ほとんどが運転者の不注意による物損事故です。また、事務処理トラブルは、令和4年度が4件、5年度が4件、6年度が5件で、「人的ミス」の割合が高くなっています。人的ミスによる業務トラブルは、職員の成長と改善を通じて解決していけると考えています。今後は、デジタルツールの活用やAI技術の導入などを通じて、人的ミスのリスクを低減し、業務の精度を更に向上させることを目指します。

同窓会開催に補助金を！

まるき かずや
丸 木 一 哉



問 市内で行われる同窓会で、ふるさと納税をPRすると効果的ではないですか

答 同窓会の開催について、事前にお知らせいただき、PRする時間を少しでも頂けるのであれば、職員が出向いてPRしたいと考えています。

問 市内で行われる同窓会に、いくら補助金を出せば、同窓会も運営しやすくなるし、開催も把握できて効果的ではないでしょうか

答 補助金の事前申請を利用すれば、同窓会情報を得る有効な手段になるかと思います。一定の必須要件を設定する必要があると思いますが、双方にとって効果的なものになると思いますので、事業化について検討してみたいと思います。

堅徳小学校を特認校に！

問 特認校をどのように位置付けていますか

答 少人数学習、豊かな自然環境、地域の人々との交流等から受けられる教育効果が挙げられます。

問 堅徳小学校は、それに沿った学校ではないかと思いますが、後藤教育長はどう思われますか

答 このたび、堅徳小学校学校運営協議会から堅徳小学校を特認校に指定する旨、要望が提出されました。

小規模校での家族的な環境で学習することにより、適応状況を高め、わが子を成長させたいとの保護者の希望の受け皿になる旨を学校運営協議会は要望されたのだと思います。

個人的には、特認校はありと考えています。

1人で過ごしている子どもに居場所を！

の だ かずひろ
野 田 和 廣



問 放課後児童クラブ閉所後1人で過ごしている子どもがいる可能性があるならば、安心して過ごせる場所が必要ではないか

答 アンケートの自由記載の部分には、開所時間の延長を希望する意見もございましたので、各児童クラブと開所時間の延長等も含め協議をしているところです。

問 長期休みに1人で過ごしている子どもはいないか

答 長期休みの状況調査をしていません。

問 子どもの生活状況や保護者の思いを拾えないので、今後の子育て支援や政策に役立てるためにもニーズ調査をしてはどうか

答 全小学生となると手法や集計方法、また教育委員会にもご協力いただくことになりますので、今この場で即答は致しかねます。再度持ち帰って

各機関と協議をさせていただければと思います。

問 全天候型の遊び場兼多世代交流の場があれば、休み期間中など留守番をする子どもは減ると思うし、健全育成や多様性を育むことができ、高齢者にとっても生きがいづくりの一助になると思う。加えて、地域の活力になると考えるので、旧第二中学校を利活用して整備してはどうか

答 旧第二中学校の利活用につきましては、行政のスリム化のために老朽化の著しい公共施設の集約を図ることを第一義に考えていますので、子どもの居場所については、運営形態など議論することも多いため、担当課から依頼があれば、検討委員会の中で協議していきたいと考えています。

◆その他、新庁舎における来客用、公用車用、職員用駐車場の整備計画について、質問しました。

農・漁業後継者に生活保障を

ちねん とよひで
知 念 豊 秀



問 一次産業（農業、漁業）後継者が安心して生計を立てられる保障を市はどのように考えていますか

答 生産基盤の強化を行い、所得の安定や向上等に結びつく事業を進めることが、結果的に後継者の生活保障につながっていくと考えています。

簡易耐震工事の推進を

問 能登半島地震をはじめ、近年の大地震では、木造住宅の倒壊が大きな被害をもたらしています。本市でも上限150万円として耐震改修工事（自己負担なし）を今年から始めていますが一件も実施していません。積極的に推進すべきではありませんか

答 低コスト工法の有効性を十分御理解いただき、利用につなげていくことが最優先と考えています。

高齢者への補聴器助成を

問 加齢性難聴は、日常生活の不便やコミュニケーションの困難をもたらし、生活の質を著しく低下させる要因となっています。補聴器は片耳あたり数万円から数十万円と高額で、保険適用もなく、購入は全額自己負担となっています。普及に補助金を出せませんか

答 現在、本市においては補聴器購入への独自の助成制度は設けていませんが、認知症の発症予防、介護予防の観点からも大切なことですので、研究していきたいと考えています。

学校給食無償化は待ったなし

問 石破首相は2026年度に、まず小学校から開始するとし、中学校もできる限り速やかに始めるとしています。臼杵市、佐伯市も始めました。本市も早急に実施できませんか

答 安定的財源が確保できません。

津久見の未来につなぐ

うちだ たかお
内 田 隆 生



問 総合計画について

答 総合計画は市の最上位計画であり、その計画に基づいて津久見市のあらゆる計画を策定していくことになる非常に重要なものです。現在、来年度からの10年間の計画である第6次津久見市総合計画の策定作業を行っています。10年後に目指す究極の目標は、「市民のWell-Beingの向上」「人や資源の好循環」と考えていますが、それを達成するためにも、『安心』を実感する地域、『豊かさ』を実感する地域、『多様な人財』を育む地域』の3つの柱が必要と考えています。人口ビジョンや総合戦略については、県や国の考え方も見据えながら策定に取り組んでるところです。

問 南海トラフ地震時における避難所運営について

答 公設避難所の想定収容人数は、千怒小

1278人、津久見小737人、青江小279人、津久見中771人、旧第二中1121人、新庁舎1065人です。この公設避難所には防災倉庫や旧給食室に水や食糧のほか毛布、生理用品等を備蓄していますが、十分でないため、今後、県の補助金を活用して分散備蓄を推進します。また、運営には、近隣の自主防災会との協力体制が必要不可欠であり、大規模災害を想定した防災訓練実施に取り組んでいきます。公設避難所を設置できない地域では、風雨等が凌げるための簡易テント等の備蓄品の整備を検討していきます。各地域の自主防災会や消防団との連絡体制については、携帯電話やメール、SNSなどのほか、消防団については配備しているデジタル簡易無線を活用するとともに、低軌道衛星を利用したスターリンクなどの民間インフラについても調査研究していきます。

市長に問う！ ～新しい津久見づくり～

くらはら ひでき
倉原 英樹



問 旧第二中学校の利活用について

答 令和6年10月に第二中学校跡地の有効な利活用策を検討するための「旧第二中学校跡地利活用プロジェクトチーム庁内検討委員会」を設置し、協議を開始しました。検討委員会の議論の中で、将来の人口減少を見据え、行政をスリム化させる必要があり、公共施設全体の集約を図って行かなければならないことを確認しました。

まずは、費用をかけず、公民館機能だけを早期に先行移転させる方針を決め、担当課及び公民館関係者や利用者の意見を確認しながら協議を重ねています。

今年度中に公民館のサテライト施設として利用したいと考えています。利用する中で必要な改修箇所を洗い出し、財源確保を図っていきます。

問 「新しい津久見づくり」に向けての具体的な方策は

答 市長に就任して以降、予算編成における財政のやりくりに変な苦慮しています。

将来のために先行投資したくても、十分な財源確保が難しいという苦しさがあります。

そんな中、現在建設中の新庁舎は、有利な地方債の適用を受けて建設が進んでいます。その後、まちなか観光拠点の整備、つくみん公園を核としたみなとオアシス津久見の一体的整備、中心部の再編・活性化を進め、津久見市の将来の可能性が広がると確信しています。

国や県の補助金等を有効に活用することはもちろん、民間の活力も有効に取り入れていきます。民間企業と共同で取り組むには、どのような仕組みがあるのかを調査研究しながら、可能性を探っていきます。

防災対策の更なる強化を!!

しまだ まさる
島田 勝



「災害における孤立集落の対策について」

問 本市で孤立する可能性が高い集落は

答 徳浦、堅浦、長目、日代、四浦、保戸島、無垢島地区が孤立可能性集落と考えています。

問 対策について

答 県や自衛隊などの各関係機関との連携を取るために情報共有を密に行うことができる体制づくり。また、人や物資の移動が困難になることから、事前に各地区への分散備蓄を進め、3日程度は各地区で過ごせる体制づくり。そして、自助・共助の体制の充実を目指し、自主防災会と連携した啓発や避難訓練が必要と考えます。

「可能性に満ちた重要港湾津久見港について」

問 入港船舶の推移は

答 令和元年が1万1千236隻、令和2年が1万

939隻、令和3年が1万996隻、令和4年が1万727隻、令和5年が1万305隻、令和6年が9千440隻です。

問 入港する船員へのアプローチを検討してみようか

答 現在、入港した船員へのアプローチは行えていません。

年間、1万隻以上の船舶が入港することに伴い、何万人という船員の方が津久見を訪れていると思いますので、今後、観光協会などの関係機関や各種事業所と連携して、市内飲食店マップの配布等アプローチしていきたいと考えます。

「戦争の記憶を次世代に繋ぐために!!」

問 戦争の記憶の継承について

答 図書館での企画展を継続するとともに、その内容や展示手法など一層工夫し、若い世代を含めた多くの市民に、よりわかりやすく伝えていけるよう努めます。

華麗な舞いを披露! 扇子踊り大会

8月30日
土曜日



「第62回津久見扇子踊り大会」が、8月30日つくみん公園で開催され、16団体約400人が参加しました。

踊り手の「扇子踊り」「三勝」「津久見音頭」の舞いに、市内外から訪れた観衆はその優雅さに魅了されました。

津久見市議会も参加し、華麗な舞いを披露しました。

練習の成果を発揮! 県民スポーツ大会

第78回大分県民スポーツ大会が別府ブロックを主会場に開催され、津久見市は総合15位と健闘しました。

市議会は、議員ソフトボール(9月6日、7日別府市)、議員陸上(9月14日大分市)に出場しました。

議員ソフトボールは、少数精鋭でチーム一丸となり、初戦突破を目指し中津市議会と対戦しました。中盤までは1点を争うシーソーゲームでしたが、最終的には5対16で初戦敗退となりました。

議員陸上では、議員・教委4×100mリレーに丸木、高野、倉原、島田議員が出場しました。練習の成果を発揮しましたが、第7位(出場9チーム)の結果でした。

その後行われた議員・教委100mに島田勝議員が出場し、激走の結果、見事第3位となり表彰台に上がりました。

県民スポーツ大会に出場された市民の皆さん、お疲れ様でした。また来年も頑張りましょう。

9月6日(土)
7日(日)



ソフトボール

9月14日
日曜日



陸上(リレー)



陸上(島田議員表彰台)

令和7年 第4回

12月定例会の
ご案内(予定)

12月1日(月) 開会

9日(火) 一般質問

10日(水) 一般質問

11日(木) 常任委員会

12月12日(金) 常任委員会

15日(月) 常任委員会
(予備日)

19日(金) 採決・閉会

『大分県市議会議長会主催の議員研修会に参加しました。』

10月7日に大分市のレンブラントホテル大分で大分県市議会議長会主催の議員研修会が行われ、大分県内の市議会議員が集まりました。

初めに大分県市議会議長会退任役員の表彰があり、島田議員が表彰されました。

研修の講師は時事通信社解説委員の山田恵資氏やまだけいすけで、『混迷続く政治の現状と行方』と題して、自民党総裁選で高市早苗氏が新総裁となった舞台裏や、衆議院と参議院で与党が過半数割れを起こしている中での、今後の国の舵取りについてご講演いただきました。

もう一人の講師は明治大学政治経済学部教授の飯田泰之氏いいたやすゆきで、『岐路に立つ日本経済～政策・地域・ビジネスに求められるものは』と題して、2020年までグローバル化が進んでいた世界経済がコロナ禍とウクライナ侵略を境に、グローバル経済の脆弱性が認識されるとともに、生産拠点の再編も世界的に見直しが起きつつある中で、日本経済がどうあるべきかをご講演いただきました。



議員研修会を開催しました！

令和7年10月17日（9月定例会閉会后）

タブレット研修会

津久見市議会では、令和7年度予算において、議会活動のさらなる効率化とペーパーレス化を図るため、議員用タブレットの導入を決定しました。これに伴い、9月定例会閉会日の10月17日に議員全員を対象としたタブレット操作研修会を実施しました。



これまで市議会では、定例会や委員会において多くの資料を紙で配布してきました。議案書や説明資料、参考資料などは膨大な量にのぼり、印刷や配布に時間と費用がかかるだけでなく、『資料を探しにくい』『過去の議事録や関連資料と照らし合わせにくい』といった課題がありました。今回のタブレット導入は、こうした課題を解決し、議会運営をより効率的に行えるように改善する大きな一歩となります。

研修では、まずタブレットの基本操作から始まり、議案や資料を電子データとして閲覧する方法、会議中にメモや検索を行う方法など、議会活動に直結する実践的な内容を学びました。特に、紙の資料と異なり、必要な情報をすぐに検索できる機能や、資料のページを簡単に切り替えられる利便性を体験することで、タブレット活用の効果を実感することができました。



導入後は、資料のデジタル化につながります。さらに、議会での議論を迅速かつ的確に行えるようになり、市民の皆さまにとっても、より開かれた議会活動を実現していくことが期待されます。

議会報告会を開催します！

9月定例会や、令和6年度の決算特別委員会などについて、議会の活動をご説明し、ご意見をうかがいたと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

【日時・場所】

令和7年11月5日(水) 19:00～ 彦ノ内公会堂
11月5日(水) 19:00～ 入船公民館
11月6日(木) 19:00～ 江ノ浦公民館
11月6日(木) 19:00～ 津久見市民会館

※どの会場でも参加できます。ご都合に合わせてお越しください。

※今回は上記4か所で開催しますが、今後も他の地区での実施を予定しています。

令和7年度 管内行政視察

① 津久見市新庁舎建設工事

築60年以上を経過した現庁舎の老朽化、耐震性の問題を解消し、市民の利便性を高め、中心市街地の活性化に寄与するため、津久見港青江地区港湾埋立地に新庁舎を建て替えます。

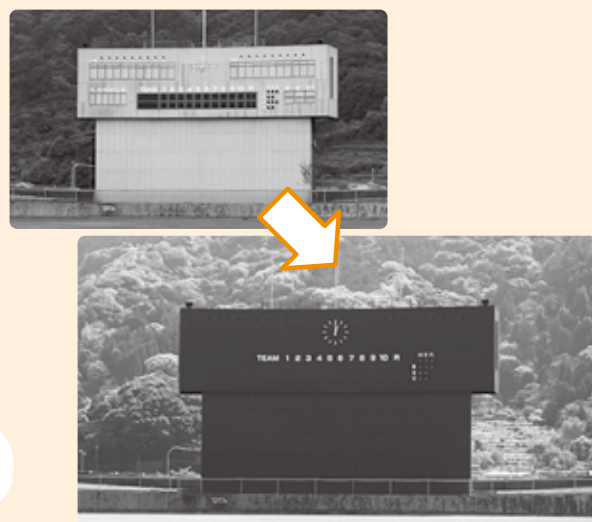
事業費 41億5,500万円



② 市民野球場スコアボード等改修工事

平成19年にスコアボード得点盤のLED化、グラウンド改修工事、バックスクリーン等の塗装工事を実施しリニューアルを行いました。が、それから17年が経過し劣化が酷く、改めてスコアボード・バックスクリーンの塗装及びBSOランプをLEDに交換しました。

3,810万5,100円(過疎債 3,810万円)



③ 市道岩屋線道路改良事業 (平成30年度～令和8年度)



中央町・高洲町の児童生徒が津久見小学校、津久見中学校に通う通学路になっており、交通安全プログラムに指定されています。現道は幅員狭小なうえ、交通量が多く歩道が未整備のため、児童生徒をはじめとした道路利用者が、安全かつ安心して通行できるように整備します。

④ 畑地帯総合整備事業 津久見地区(長目釜戸区) ※県事業

～荒廃園を活用した樹園地再生事業～

津久見市の柑橘産業がなくなってしまう危機感から、急傾斜地を探索し、条件の良い園地整備を計画しました。(営農開始R8年～)

R7年4月	サンクイーン	650本植栽済み
R8年2月	サンクイーン	860本植栽予定
	温州(大津)	500本予定



整備前 R4年10月



整備中 R7年2月

⑤ 平岩地区簡易水道の統合整備事業(令和6～8年事業)

平岩地区簡易水道は、民営の簡易水道であり、地区住民の高齢化や施設の老朽化に伴い、水源等の維持管理が難しい状況になってきたため、地区の水道の安定供給を目的に整備事業に取り組んでいます。

事業費 1億2,500万円



⑥ 災害対応特殊救急自動車導入事業

平成29年に配備された災害対応特殊救急自動車を更新することで、車両の故障など様々な不安をなくし、救急体制の維持向上が図られます。電動ストレッチャーの導入により職員の負担軽減にも繋がり、救急業務に対し安全で、安心のできる市民サービスを提供できるようになります。

4,081万円(補助金 1,244万円)



これからの津久見のために！ 津久見で頑張ってる人を応援します♪



みんなガンバレ！



今回は
津久見市消防本部で
頑張っている、
女性隊員 2 人を
紹介します♪



まつぞの みゆ

松園美優さんにインタビュー

Q1 消防士を目指したきっかけは？

A1 幼いころから人を助ける職業につきたいと考えていて、中学生の頃に職場体験学習で出会った女性消防士の姿に憧れたからです。

Q2 消防士としての目標は？

A2 大学時代に取得した救急救命士の資格を活かして、現場での最前線にたてる消防士になりたいです。

Q3 市民の方一言お願いします★

A3 津久見市の安心・安全な街づくりに貢献できるように全力で頑張っていきます！



あんどう はるか

安藤晴香さんにインタビュー

Q1 消防士を志して大変だと思う事は？

A1 柔軟な対応力が必要なところです。

Q2 消防士を目指す方にアドバイスを！

A2 大小関係なく目標を常に持ち、もし消防士になっても傲慢にならず努力してください。

Q3 市民の方一言お願いします★

A3 豊富な知識を身につけ技術を向上させ、より質の良い市民サービスを提供できるように頑張りますので、よろしくお願いします。

県内でも数少ない女性隊員です。
大変なお仕事と思いますが、頑張ってください。応援しています!!